第10回市民学校受講生募集

5月11日～29日

第十回市民学校を次の日程で開催します。多くの方の参加をお待ちしています。

◪場所　大篠地区公民館
◪時間　午後一時三十分～三時三十分
◪受講料　無料

※受講をご希望の方は、電話またははがきに「市民学校受講希望」と書き、住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、市立中央公民館（〒783　南国市大埇二一二五　☎(64)3498）までお申し込み下さい。

講演の内容

◇郷土の生んだ細川半蔵とからくり人形

猪野　吉保氏

四十年前、国立科学博物館を訪れた折、江戸時代のからくり人形と出会い、それが私の一生の研究テーマとなった。その復元を目指して各地の資料を収集してきたが、復元する上で貴重な設計図「機巧図彙（きこうずい）」を残してくれたからくり人形師に細川半蔵がいた。この細川半蔵は、土佐の守護職細川頼益公の後裔だと言われている。

一昨年、科学技術週間の行事の一つとして、私の家からからくり人形の実演が、全国に放映された。郷土が生んだ「まぼろしのからくり人形師　細川半蔵」の生涯や、日本の科学技術の一端を紹介したい。

◇中岡慎太郎～その実像と魅力～

前田　年雄氏

中岡家は、吾川郡矢田村庄屋、長岡郡上倉郷庄屋、西畑村庄屋、北川郷大庄屋などを務めた家柄である。

中岡慎太郎は天保九年四月十三日に生まれ、慶応三年十一月十七日に没した。幼名を福太郎、光次春久と言い、名を為鎮、後に道正と言った。石川清之助、大山彦太郎、樺山勘蔵といった変名もある。

彼に影響を与えた人物に、父小伝次や松林寺住職禅定和尚、武市瑞山、吉田松陰、高杉晋作らがいる。

中岡慎太郎の少年時代や庄屋時代、脱藩、薩長同盟の着想と推進、時勢論、刺客はだれかなどを探ってみたい。

◇国民休暇県を取材して

小椋　克己氏

大川村謝肉祭やとんぼ自然公園、山里シンポジウムなど、県内各地でさまざまな取り組みがなされている。それらは大きく、情報発信、団結、交流、物産販売を行うイベント型、持続性や経済効果のある産業型、観光客の誘致をねらった施設型、イベントの一種で交流などを図るフォーラムに分けられる。

実際の取り組みを上げながら、国民休暇県について考えてみたい。

◇ゆらぐ内外情勢

激しくゆれる国内外の情勢

品原　淳次郎氏

昨年、ソ連や東欧諸国では、自由と民主化を求める声が大きくなり、今年にかけて歴史に大きく残るような改革が続いている。第二次世界大戦以来、二つの国に裂かれていたドイツは、今年のうちにも統一され、アメリカや日本に対抗するほどの経済力や政治力を持った国になろうとしている。

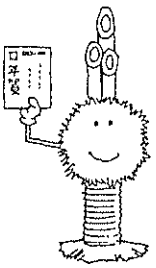
一方、ECは連邦国のようにまとまろうとしており、ドイツがこれに入ると、ECの勢力は強大になる。ソ連やアメリカ、日本はこれにどう対応していくのだろうか。

また、日本はアメリカと貿易問題で激しく争っている。日本の円の力、貿易の力などはどうなっていくのか。さまざまな問題が世界の中で渦を巻いている。この動きを眺めながら日本のことを考えてみたい。

第10回市民学校日程表

日	曜	演題	講師
5/11	金	郷土の生んだ細川半蔵とからくり人形	発明協会会員 猪野　吉保
15	火	中岡慎太郎～その実像と魅力～	北川村教育次長 前田　年雄
22	火	ゆらぐ　内外情勢	県婦人問題アドバイザー 品原　淳次郎
25	金	今私達に求められているもの 世界的な人権確立の潮流の中で	県地域改善協会次長 岡林　良
29	火	国民休暇県を取材して	高知放送顧問 小椋　克己

あなたの作品が年賀ハガキに



絵入り年賀ハガキのデザインを募集します。

最優秀作品は、平成三年の絵入り年賀ハガキ地方版（四国四県版）に採用されます。奮ってご応募下さい。

締め切りは五月十二日です。

※応募要領など詳しいことは、南国郵便局庶務会計課（☎(63)2611）までお問い合わせ下さい。

【南国郵便局】